



新任担当者の基礎固めに、実務経験者の知識の総復習に最適！

2日間で学ぶ『内部統制』の基本と実務

しくみの基本から整備・評価まで、金融商品取引法に基づく内部統制の基本と実務を全て網羅

開催日時

2024年6月18日(火)～19日(水) 10:00～17:00

Webセミナー（オンデマンド配信）もございます。
詳細はWebサイトへ

対象：新任内部統制・内部監査担当幹部・スタッフ

「新しく内部統制の担当になった」「直接の担当ではないが情報武装しておきたい」「上場企業に準じて内部統制に取り組むことになった」・・・本講座では、このような方々の要望にお応えするべく、金融商品取引法が求める内部統制報告制度（J-SOX）の制度的背景から、全社統制や業務別統制を整備・評価する際の基本ポイント、さらには整備・評価作業の具体的な進め方を、2日間にわけて解説します。上場会社における最近の内部統制不備の増加傾向を踏まえ、金融庁から公表されている指針（「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準・実施基準」）も改定され、2024年4月以降の事業年度から厳格なリスクアプローチが求められる状況となっています。講義では、過去からの教訓や新制度、新会計基準等の最新情報も取り込みながら、実務本位の解説で定評ある講師が随所に設例・事例を織り込んでわかりやすくご指導いたします。（詳しくは裏面をご覧ください）

講師



コントロールソリューションズ(株)
代表取締役社長
公認会計士

佐々野 未知氏

上智大学経済学部卒業。大原簿記学校講師、青山監査法人（当時）勤務を経て、1998年KPMGニューヨーク事務所に入社。2002年以降は、KPMG東京事務所（現あずさ監査法人）にて外資系企業の法定監査、デューデリジェンス、SOX法対応支援業務を担当する。現在は、経営コンサルタントとして、内部統制構築支援やIFRSコンバージョン支援に携わるとともに、各種実務セミナー講師としても活躍中。豊かな経験に最新の情報もふまえ、随所に事例・設例を織り込んだ実務本位の明快な指導には定評がある。

【主 著】

「フローチャート式ですぐに使える 内部統制の入門と実践（第2版）」「内部統制の評価・活用ノウハウ ムリ・ムダ・ムラをなくしてIFRSs、ERMへ展開」（いずれも中央経済社）ほか多数。

主催

みずほリサーチ&テクノロジーズ

TEL ☎0120(737)132

会場

TKPガーデンシティPREMIUM品川高輪口

東京都港区高輪4-10-18 京急第一ビル
（JR 品川駅 高輪口下車2分）

受講料

MMOne ゴールド会員

50,600円

（うち消費税 4,600円）

MMOne シルバー会員

55,000円

（うち消費税 5,000円）

左記会員以外

61,600円

（うち消費税 5,600円）

★テキスト代を含みます。

★お取消等については、裏面のご参加要領をご覧ください。

★MMOne 会員企業さまの場合、「ゴールド会員」「シルバー会員」価格にてお得にご利用いただけます。

MMOne（MIZUHO Membership One）とは、みずほの法人向け会員制サービスです。

動画配信、経営相談、各種媒体・割引提携サービスなど、様々なビジネスシーンでご活用いただける利便性の高いサービスをご用意しております。

詳しくはWebサイトをご覧ください <https://www.mizuhosemi.com/mmone/index.html>

お申込みはWebサイトからどうぞ
セミナー最新情報もご覧いただけます

みずほセミナー

検索

<https://www.mizuhosemi.com>



※ご記入いただいた個人情報の利用目的、ご参加要領に関しては裏面をご覧ください。

※同業の方のご参加はご遠慮ください。

No.24-10606

講義内容

【基本編】内部統制のしくみと評価の全体像

内部統制評価・見直しの基本を確認！

制度的背景、評価の体制とスケジュール、評価対象となる組織や業務、評価作業の概要

1 内部統制が求められる制度的な背景と基本的しくみ

- 1) 内部統制を要請する法制度 ～会社法と金融商品取引法の相違
- 2) 内部統制とは何か？
- 3) J-SOXで求められる内部統制と評価上の留意事項
- 4) 実務上参考とすべき基準・指針
～最新の実施基準、内閣府例、Q&Aなど
- 5) J-SOXに関する指針の改訂概要と実務への影響

2 内部統制評価作業の目指すべきゴール、内部統制報告書

- 1) 最終ゴールと内部統制報告書の4つのパターン
- 2) 内部統制報告書の記載内容と記載例
(有効な場合、開示すべき重要な不備がある場合)
- 3) 不備とは、開示すべき重要な不備とは、その判定方法
- 4) 内部統制の重要な不備を示唆する事象
- 5) 内部統制の種別と評価作業の全体

3 内部統制の構築・評価作業の全体フローと関与者の役割

- 1) 内部統制の構築・評価に関する責任 ～会社法
- 2) リスク管理とコーポレートガバナンスコードとの関連性
- 3) 内部統制の構築・評価に関する組織体制と役割分担
～経営者、部門管理者、内部監査人、経理・財務担当者等の
- 4) 基本計画の策定から有効性評価、報告書提出までの年間スケジュール (例)

4 基準の改訂を踏まえた評価範囲決定の基本と重要ポイント

- 1) 評価対象範囲の全体像
～グループ会社、IT等委託業務、在外子会社等の扱い
- 2) 全社統制の評価範囲の検討方法 ～除外できる事業拠点とは？
- 3) 業務別統制の評価範囲
～事業目的に係る業務プロセスの選定方法と選定根拠
- 4) 業務別統制の評価範囲
～個別にリスクを踏まえた重要な業務プロセスの選定方法
- 5) ITに関連する内部統制の整理
～IT全社統制、IT全般統制、IT業務処理統制の関係
- 6) IT全般統制はなぜ評価する必要があるのか？なぜ開示すべき重要な不備になりにくいのか？

5 内部統制の評価概要と重要ポイント

- 1) 整備状況の評価と運用状況の評価
- 2) 全社統制はどう評価するか？
- 3) 決算・財務報告プロセス統制はどう評価するか？
- 4) 業務プロセス統制はどう評価するか？
- 5) IT全般統制はどう評価するか？

【実務編】内部統制の整備・運用とその評価作業

内部統制の種類別に整備状況と運用状況の評価方法を解説！

全社統制、決算財務報告プロセス、その他の業務プロセス、IT全般統制を評価するときのポイントと留意点

1 内部統制評価の概要と基礎

(基本編内容のうち関連するポイントのみ再確認)

- 1) J-SOXで評価する内部統制とは何か？評価上の留意事項
- 2) 整備状況の評価と運用状況の評価
- 3) 内部統制の種別と評価作業の全体、評価スケジュール

2 全社統制の評価の基本と重要ポイント

- 1) 全社統制の評価の基本
～評価・整備すべき項目、評価方法、完成物のイメージ
- 2) 評価手続と結果の文書化
～評価シートの作成例、結果の文書化例、制度見直しの影響
- 3) 全社統制の運用状況評価にあたっての留意点
- 4) 全社統制の重要な不備の事例に学ぶ

3 決算・財務報告プロセス統制の評価の基本と重要ポイント

- 1) 決算・財務報告プロセス評価の基本
～全社的部分と個別部分、各部分に応じた評価方法
- 2) 全社的な決算統制の評価手続と結果の文書化
～評価項目例、評価手続と結果の記載例
- 3) 決算マニュアルの作成例
- 4) 会計基準変更が内部統制評価に与える影響と対応方法
- 5) 決算・財務報告プロセス統制の重要な不備の事例に学ぶ

4 業務別統制の整備状況評価の基本と重要ポイント

- 1) 業務の流れとリスク及びコントロールの把握と文書化方法 (3点セット)
- 2) 財務報告リスク (アサーション) を理解して、リスクを洗い出す
- 3) リスクに対応するコントロールを検出し、文書化する
- 4) ウォークスルーテストによる整備状況の評価と結果の文書化
- 5) 整備状況の評価の留意点と見るべきポイント
- 6) 整備状況評価結果の文書化事例、不備一覧表による改善管理 (例)

5 業務別統制の運用状況評価の基本と重要ポイント

- 1) 運用テスト作業の全体像 ～時点評価を理解する
- 2) テスト対象コントロール (キーコントロール) の選定ポイント
- 3) テスト対象期間とタイミング、テスト手法、サンプリングの概要
- 4) テスト結果の文書化 ～受注業務のテスト結果文書化例
- 5) 運用上の不備の判定
- 6) 再テストとロールフォワードの進め方、具体的方法
- 7) 業務プロセス統制の重要な不備の事例に学ぶ

※プログラムの無断転用はお断りいたします。

内容等に関するお問い合わせ先

TEL 0120(737)132

ご参加要領

- 1) Webサイトから簡単にお申込みができますので、是非ご利用ください。折り返し、電子メールにて参加証と請求書をお送りします。
- 2) ご受講料につきましては請求書記載の金額に基づき、セミナーの3営業日前までに下記の口座にお振込みください。なお領収書の発行は省略させていただきます。お振込み手数料はお客様のご負担でお願いいたします。
みずほ銀行 東京営業部 普通預金 No.2035802 ミズホリサーチアンドテクノロジーズカブシキガイシャ
- 3) 満員等によりお席をご用意できない場合は電話でご連絡申し上げます。
- 4) お取消しは、開催日の前営業日17時までにセミナー担当 (mizuhoseminar@mizuho-rt.co.jp) まで電子メールにてご連絡ください。受講料は全額ご返金いたします (お振込みの際の手数料については、お返しいたしかねます)。なお、開催3営業日前までに受講料のお振込みがなかった場合でも、自動的にお取消とはなりません。前営業日17時までにご連絡が無かった場合はお席をご用意している関係上、受講料全額をご負担いただきますので留意ください。
- 5) 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーへの出席をお断りいたします。
- 6) セミナー内容の録音はご遠慮願います。
- 7) 駐車場はございませんので、車でお越しはご遠慮ください。
- 8) 車椅子のご利用等、お体が不自由でお席についてご相談のあるお客さまは、事前にご連絡をお願いいたします。
- 9) 最少催行人員に達しない場合や諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。開催中止の際には、受講料を全額返金させていただきます (お振込みの際の手数料については、お返しいたしかねます)。

個人情報の利用目的

- 1) 商品やサービス等のお申込の受付のため。
- 2) 商品やサービス等のお取引における管理のため。
- 3) 商品やサービス等のご提供に必要なご案内・ご連絡・ご請求等を行うため。
- 4) ダイレクトメールの発送等、当社や提携会社等の商品やサービス等に関する各種ご提案・ご案内のため。
- 5) その他お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため。

みずほリサーチ&テクノロジーズ

セミナーのご案内は Web サイトでもご覧いただけます。 <https://www.mizuhosemi.com>